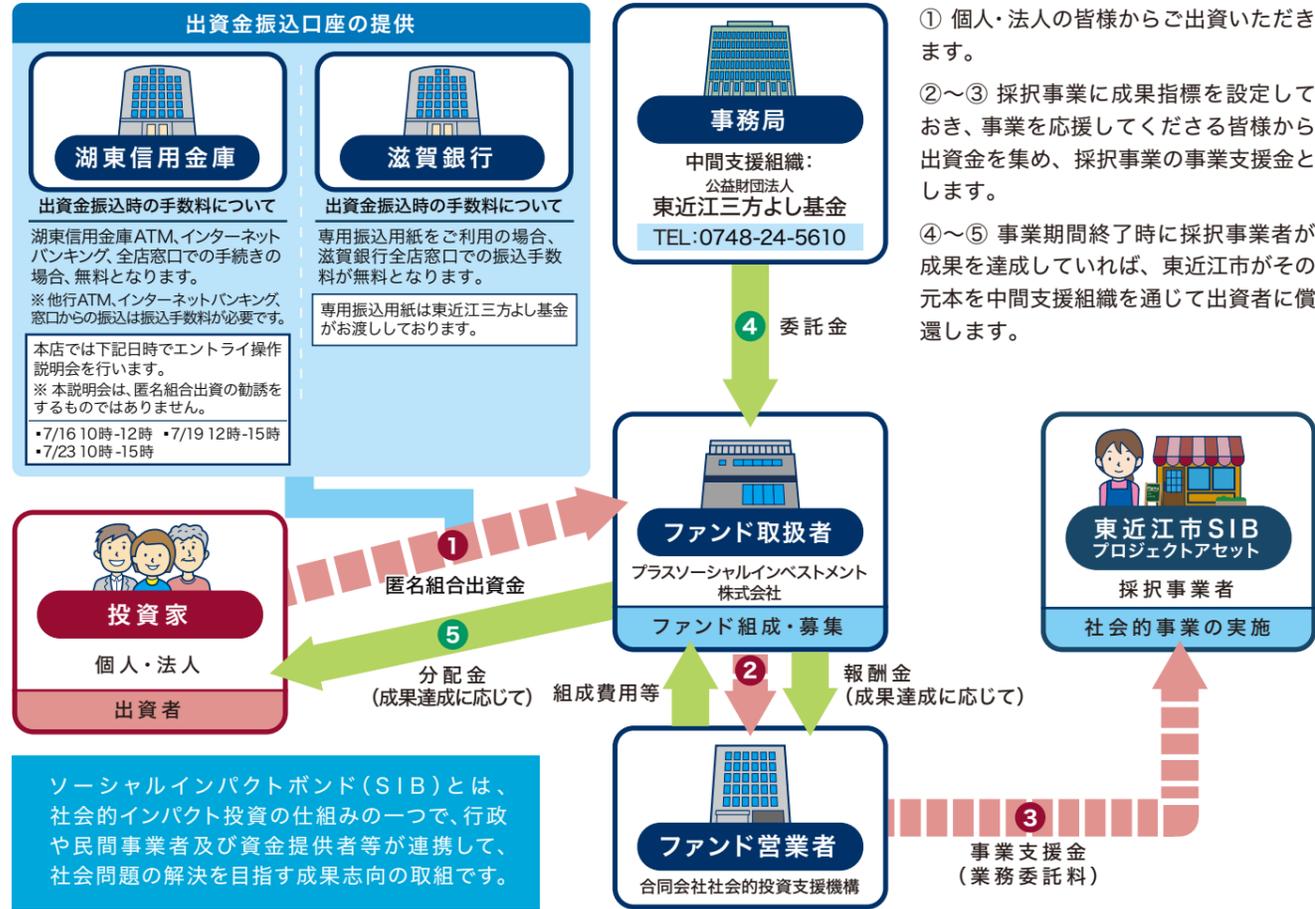


東近江市版SIB事業の仕組み



東近江市版SIB 2019 プロジェクトアセット

社会的投資ファンド

出資者募集のご案内



お申し込み方法

プロジェクトの詳細は、インターネットでご覧いただけます。

<https://www.en-try.jp/>

東近江市SIB

検索



「エンライ」は金融の仕組みを通じて、一つひとつのプロジェクトアセットへの「投資」で地域を応援できるプラットフォームサイトです。

お問い合わせ



PLUS SOCIAL
Investment

プラスソーシャルインベストメント株式会社
☎ 075-257-7814 ✉ customer@en-try.jp

当社は、「集団投資スキーム(ファンド)」を、投資の社会性をより強調するため「プロジェクトアセット」と呼んでいます。本プロジェクトアセットには、出資金の元本が割れる等のリスクや、契約期間中の解約・譲渡はできない等の留意点がありますので、匿名組合契約説明書(契約締結前交付書面)をよくお読みの上、お申し込みください。本プロジェクトアセットの募集の取扱いは、プラスソーシャルインベストメント株式会社(PSI社)(第二種金融商品取引業者:近畿財務局長(金商)第396号、加入協会:一般社団法人第二種金融商品取引業協会)に委託されているため、申込手続はPSI社が運営するWEBサイト「エンライ」にて行って頂く必要があります。

東近江市のコミュニティビジネス・若者支援事業に

あなたも投資で参加しよう!

出資を検討されている方は、下記の URL または QR コードからアクセスし事業の詳細をご確認ください。

<https://www.en-try.jp/feature/shiga-higashiomi-sib/>



コミュニティビジネススタートアップ支援事業

田園にとけこむシェアオフィスsubaco.を 育むプロジェクト

百済寺町の空き家を改修し、琵琶湖と田園が広がる環境でシェアオフィスを展開します。
新しいつながり、ビジネス、クリエイティブな発想が生まれる場、地域資源と地域内外の方をつなげる拠点としての発展を目指します。



成果目標

- 1 ペルソナ（サービス・商品の典型的な利用者像）を設定して広報活動
- 2 市内外で月額利用オーナーを10人集める
- 3 地域とのつながりの構築（自治会との連携プログラムづくり）

営業者	合同会社社会的投資支援機構
運営者	subaco.プロジェクト
出資金募集最大総額	500,000円(25口) 申し込み上限口数3口
1口金額	20,000円
資金使途	運営者への業務委託費
募集受付期間	2019年7月5日～2019年7月26日
会計期間	2019年8月1日～2020年1月31日
償還率	102%

ぶどうを育てワインを醸造・魅力ある 地域経営に乾杯プロジェクト

愛東の畑でマスカットベリーAを中心としたワイン用のぶどうの栽培や醸造技術の習得を行い、東近江市産ぶどう100%のワインを自家醸造・販売できる体制を構築します。
今後若手農業者が魅力を感じるぶどう栽培経営を確立させ、農村地域の存続に貢献します。



成果目標

- 1 8,000本のワインの販路計画の作成
- 2 ワイン日記をSNSに週一回以上発信する
- 3 醸造技術を習得し、成果報告会に実物を持参する

営業者	合同会社社会的投資支援機構
運営者	Laque
出資金募集最大総額	500,000円(25口) 申し込み上限口数3口
1口金額	20,000円
資金使途	運営者への業務委託費
募集受付期間	2019年7月5日～2019年7月26日
会計期間	2019年8月1日～2020年1月31日
償還率	102%

若者支援事業

働くマインド育成プロジェクト

次世代を担う若者を対象に自分自身の働く意味や価値について考える「勉強会」を開催します。
勉強会から得た気づきを共有する場を作り、そこから生まれたコトバが見える化し地域に広げていきます。
若者の働く質の向上と継続性の確保を目指します。



成果目標

- 1 勉強会により参加者が、気づきを獲得している
- 2 課題解決思考ではなく、価値創造思考ができる「共感できることコトバ」を獲得している
- 3 価値創造思考でとらえなおした事例が見える化できている

営業者	合同会社社会的投資支援機構
運営者	Team KonQ（チーム困救）
出資金募集最大総額	1,000,000円(50口) 申し込み上限口数5口
1口金額	20,000円
資金使途	運営者への業務委託費
募集受付期間	2019年7月5日～2019年7月26日
会計期間	2019年8月1日～2020年1月31日
償還率	102%

「東近江三方よし基金」は、772名の志ある方々の支援金で誕生した団体です。いま時代は大きな変化の時を迎え、たくさんの社会的課題を抱えて、その解決に苦勞しています。そこでいま改めて、事業の発展と共に、公益のためにも尽くした近江商人の「三方よし」《売り手よし・買い手よし・世間よし》の精神が大事であると考え、その理念を継承する、「現代版三方よしの基金の仕組み」を立ち上げました。

本基金では、これまでの公的な施策、事業者の市場原理、市民活動の志のみでは解決困難な多くの社会的課題を、これら3者が力を合わせることで解決するような新たなお金の仕組みです。

この基金が支援する活動内容は、地域の自然と暮らしを支える、「森里川湖のつながりの再生と活用」、「生業・企業・ものづくりを支援する」、「地域の食と農を再生する」、「子ども・若者の学びや仕事を支える」など、これからの社会にとっては大事ではありますが、単に市場（金儲け）の中では実行が困難な活動を対象にしています。

このように、小さいけれども地元根差した活動を、市民・事業者・行政が力を合わせて支える仕組みがこの基金です。地域の人々の、この“志ある基金”を生かし、当地を、「誰もが共に生き生きと暮らせる社会」のモデルにしていきたいと、関係者一同は夢を描いております。

また今年度も東近江三方よし基金では、SIBとして、地域課題に取り組んでおられる事業団体を応援してまいります。市民のみなさまの“志あるお金”を資金として、ビジネスをスタートさせるのみでなく、東近江地域で暮らす中で直面した課題に精一杯向き合いながら頑張っておられる事業を、地域で支えるスタイルです。

ともに暮らしをよくする、温かい支援をよろしく願っています。

結びに、多くの方々がこの夢を共に育むために、本基金にご協力いただけますよう心より願っております。



公益財団法人東近江三方よし基金
理事長 内藤正明

